

令和5年度

施政方針

瀧澤市長が施政方針演説を行いました。詳細は市ホームページや行政情報コーナーでご覧いただけます。

☎ 政策企画課 ☎ 754・6213



「人を育てる」
「まちを育てる」
「未来を育てる」の
3つの理念に基づき、
次世代につなぐ
「共育のまち池田」の実現に向けて、
日々の市政運営に邁進してまいりました。
令和5年度は、
「第7次池田市総合計画」の
キックオフとなる重要な年です。
本年度までの各分野での取り組みを
さらにブラッシュアップし、
市民のみなさまをはじめ、
本市に関わる
さまざまな方々との協働のもと、
まちづくりを進めてまいります。

重点テーマ

住みよさの追求と まちの価値の向上

豊かな自然環境と利便性の高い都市機能が調和する、本市のコンパクトシティとしての魅力を最大限に活用することで、誰もが住みよいまちをめざします。また、既存の観光資源などの活用に加え、カーボンニュートラルや「2025年大阪・関西万博」といった国内外の時流に遅れを取ることなく対応し、本市の魅力を高め、効果的に発信することで、まちづくり人口の拡大に努めます。

子育て支援の一層の充実と ユニバーサルな社会の実現

安心して子どもを産み育てられるまちとしてより多くのみなさまに選ばれるよう、私自身の一人の市民、母親としての視点から、必要とされる取り組みを時勢に応じて実施します。また、あらゆる観点からダイバーシティを尊重した取り組みを進めるとともに、積極的な情報発信を行います。

主要施策

① 価値を高め発信するまちづくり

「環境共創」のまちづくり

「池田市ゼロカーボンシティ宣言」に基づき、再生可能エネルギーの導入目標の設定やその達成に向けた施策を検討します。また、省エネ家電の購入費用を補助します。

クリーンセンターの今後の施設整備に向けて、周辺地域との広域的な対応も視野に入れた検討を進めます。

地域での花いっぱい運動の支援など都市の緑化に努めるとともに、山地災害の防止と良好な景観の維持に向けた森林保全を図ります。

地域特性を生かしたまちづくり

細河地域では、「BOTAFES」の開催や官民連携コンソーシアムによる農園芸の振興と地域拠点づくりに取り組むとともに、スマート農業と農福連携事業の普及に向けた実証実験を重ねます。

池田駅周辺では、「おさんぽマルシェ」の開催など官民連携のエリアプラットフォームによる持続的なまちづくり活動に取り組むとともに、せせらぎモールの再整備を進めます。

石橋阪大前駅周辺では、地域主体のまちづくり協議会の意見を踏まえながら、サンロードの再整備など駅前空間の活用に向けた取

り組みを進めます。

都市活力の維持と活性化

池田商工会議所をはじめとする団体の各種事業を助成し、商工業の発展や安定化を図り、創業を支援します。

「池田ブランド認定品」については、認定品、業者のさらなる拡大と発信を図ります。

シティプロモーションの展開

「ウォンバットと暮らすまちいけだ」のPRを軸とした、関係人口をはじめとする、まちづくり人口の増加に向けた取り組みを戦略的に推進します。

観光の推進については、ワーケーションなどの新たな旅のスタイルの環境整備を進めるとともに、さらなるにぎわいの創出に努めます。



▲おさんぽマルシェの様子

② 子どもと大人の未来を育てるまちづくり

子ども・子育て支援の充実

妊産婦の方や低年齢期の子育て世帯に寄り添った、伴走型の相談支援の充実を図るとともに、地域子育て支援拠点の質の向上や各地域での子育て支援活動の推進に取り組めます。

従来の母子健康手帳に加え、情報発信機能などを備えたデジタル子ども手帳の導入、運用を進めます。

産婦健康診査については、経済的負担の軽減により受診を促進し、産後初期の母子に対する支援を強化しま

す。

子ども医療については、引き続き18歳までの子どもを対象として、医療費を助成します。

就学前教育・保育については、民間保育施設の整備に対して補助します。また、施設でのおむつ処理や健診などの費用を補助します。

学校教育の充実

学校給食費に対する補助を引き続き実施します。特に、中学校および義務教育学校の後期課程では、給食費を無償化し、物価高騰による負担に対する支援を図ります。

文化・芸術・スポーツ活動の推進

文化やスポーツの分野で功績のあった市民へ奨励金を交付します。また、指定管理者と連携しさまざまな文化事業を実施します。

▼地域子育て支援拠点・わたぼうしの様子



主要施策

③ いきいきと暮らし続けられるまちづくり

人権と多様性を尊重するまちづくり

「池田市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度」の浸透を図り、ダイバーシティ社会を推進します。また、ダイバーシティセンターで、多文化共生社会の形成に向けた啓発事業を実施します。

高齢福祉の充実

敬老会館とその周辺施設の集約・複合化にあたり、多世代交流を実現する施設の整備に着手します。地域包括ケアシステムについては、身近な相談窓口としての地域包括支援センターを増設し、体制の充実を図ります。

障がい福祉の充実

「第6期池田市障害者計画・第7期池田市障害福祉計画・第3期池田市障害児福祉計画」の策定に取り組みとともに、障がい福祉サービスなどの提供体制の充実に努めます。

保健・医療の充実

歯科検診事業について

は、2歳6カ月児の歯科健診でフッ素塗布を無償で実施します。

がん検診事業については、胃がん検診で胃内視鏡検査を新たに実施します。また、がん患者の治療に伴う医療用ウィッグや乳房補正具などの購入に対して新たな費用助成を実施します。

健康づくりへの機運を高めるため、地域での健康計測会、健康教育、健康相談を実施します。また、糖尿病性腎症および高血圧・心疾患重症化予防事業を引き続き実施し、健康寿命の延伸、医療費適正化に取り組みます。



▲健康計測会の様子

④ 快適さを実感できる安全・安心なまちづくり

「危機への備え」の充実

木造住宅の耐震化に係る助成を引き続き行うことで、災害に強いまちづくりを進めます。

消防・救急体制については、消防員を増員し、常時救急5隊運用を図るための体制整備を進めます。加えて、豊中市との消防指令業務共同運用を継続するとともに、「豊中・吹田・池田・箕面・摂津」の5市で構成する消防指令センターの運用開始に向け、協議します。

快適な住宅・住環境づくり

公園・緑地の利活用については、五月山緑地のさくらプロムナードや動物園の再整備を推進し、魅力



▲ウォンバットの日2022イベントの様子

ある公園・緑地づくりを進めます。魅力向上の取り組みの一つとして、動物園に新たなウォンバットの誘致を進めます。また、市民協働による魅力ある公園の整備を進めるとともに、遊具や設備などの機能や配置の再編を行います。

市営墓地については、五月山霊園内の合葬式墓建設に向けた調査および設計を進めます。池田駅前喫煙所については、関係機関と協議の上、密閉型の構造として、移設します。

道路・公共交通の充実

公共交通体系の再構築に努めます。特に、南部地域においては、引き続き地域課題の解決に向けて、多様な主体との協議を進めます。市内のバリアフリー化については、今後の具体的な整備方針を示す「池田市バリアフリー基本構想」を策定します。

上下水道の充実

水道管の更新、耐震化などを順次行い、災害時の被害を最小限に抑えるよう努めます。また、計画的に下水道管、下水処理施設などの更新および耐震化に取り組むとともに、省エネ・省コスト化および温室効果ガスの低減を推進します。

「まちづくりの進め方」を支える取り組み

▼池田市SDGs推進プラットフォームのキックオフ会合



「まちづくりの進め方」とは、第7次総合計画の施策において、意識すべき3つの視点です。

①SDGsの推進

「池田市SDGs推進プラットフォーム」を起点とし、市民の効果的な連携を図り、環境・社会・経済の3側面が調和した、地方創生につながる取り組みを推進します。

②みんなを取り組むまちづくり

総合計画のめざすまちの将来像の実現に向けた協働が効果的に行われるよう、計画の周知・広報に関わる取り組みを推進します。

まちづくりに関わる多様な主体の連携の強化を図るため、「池田市官民連携デスク」を設置します。

国および府の行政機関が集積する官公庁街としての本市の特色を生かし、「池田官公庁まちづくり懇談会」を設置します。

地域分権制度の推進については、「池田市地域ビジョン」をもとに地域の各団体との連携の強化を図り、より自主的・自立的なまちづくりを進めていくよう、地域住民のみなさまと心を合わせて取り組みます。

公益活動の促進については、市民活動交流センターを拠点として、市民の多様な活動を促進するとともに、公益活動だけでなく、自治会など地域団体やNPOへの助言および相談対応も行います。また、公益活動助成金を交付し、公益活動

のさらなる活性化および活動主体の自立の促進を図ります。

③持続可能な都市経営

行財政改革を推進し、社会状況の変化に対応できる柔軟性と強さを備えた組織づくりに取り組みます。

多様化する行政課題に対して、限られたリソースを効果的に活用すべく、デジタルトランスフォーメーションを推進します。具体的な取り組みの一つとして、LINEでのお問い合わせ対応などの機能を拡充します。

職員の育成については、「池田市人材育成基本方針」に沿って、職員のマネジメント能力などの向上を図り、組織の活性化につなげます。

公共施設などのマネジメントについては、ニーズや財政状況などを踏まえながら、施設などの総量および維持管理経費の最適化に向けた検討を進めます。

近隣市町をはじめとする他団体との広域的な連携については、共通する課題に関し各団体と緊密な情報共有と議論を重ね、取り組みの推進を図ります。

結びに

現代社会は大きなうねりの中にあります。日進月歩で技術が発展し、私たちの日々の暮らしはますます便利なものになっていく一方、感染症や災害、軍事衝突などの脅威、人口減少や環境問題など課題は尽きません。こうした社会の動きや変化に取り残されないよう、適切に対応していく必要があります。

本市においても、激動の時代のその先の未来を冷静に見据え、デジタルトランスフォーメーション、グリーントランスフォーメーションなどさまざまな分野における変革に対して恐れることなく挑戦し、第7次総合計画に基づく持続可能な市政運営に努めます。

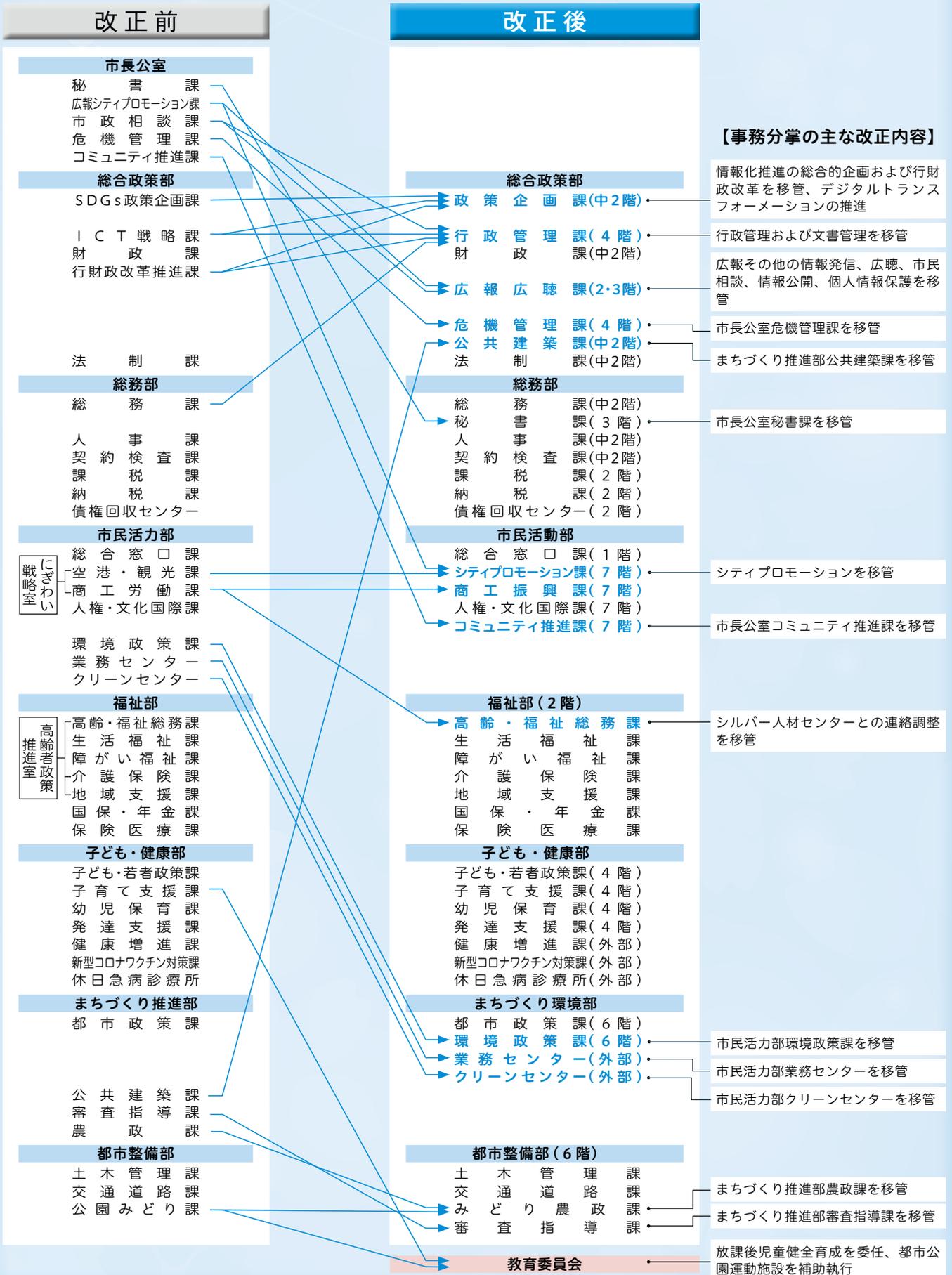
そして、その一つひとつの取り組みの推進にあたっては、市民のみなさまをはじめ、本市に関わる全てのみなさまとの協働が欠かせません。第7次総合計画のキャッチフレーズである「『だったらいいな』を叶えるいけだ」の響きのもと、一人ひとりと共に夢を描き、共に知恵と力を出し合い、共に夢を実現できる池田を創ってまいります。

令和5年2月24日

池田市長 瀧澤智子

市の行政組織が変わります

第7次池田市総合計画の着実な推進に向け、社会情勢の変化や新たな政策課題に迅速かつ確な対応を可能とする組織体制に見直すため、4月1日から行政組織が変更となります。



主な改正点

部室課を統廃合

●部の再編

市長公室を廃止し、総合政策部、総務部、市民活動部、福祉部、子ども・健康部、まちづくり環境部、都市整備部の7部とします。

●課室の統合

市長公室市政相談課、総合政策部行財政改革推進課を統廃合し、まちづくり推進部農政課と都市整備部公園みどり課を統合し、市民活力部にぎわい戦略室と福祉部高齢者政策推進室を廃止します。

行政のDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進

総合政策部に新たにデジタルトランスフォーメーションの推進に関する業務を追加します。

公共施設のマネジメントを推進

総合政策部に公共建築課

を移管します。

市の魅力創造と発信によるまちの活性化を推進

市民活動部に、シティプロモーションに関する業務を移管し、コミュニティ推進課を移管します。

脱炭素・循環型社会に向けた政策の推進体制を強化

都市政策課と環境政策課を所管するまちづくり環境部を設置します。

教育委員会への事務の委任および補助執行

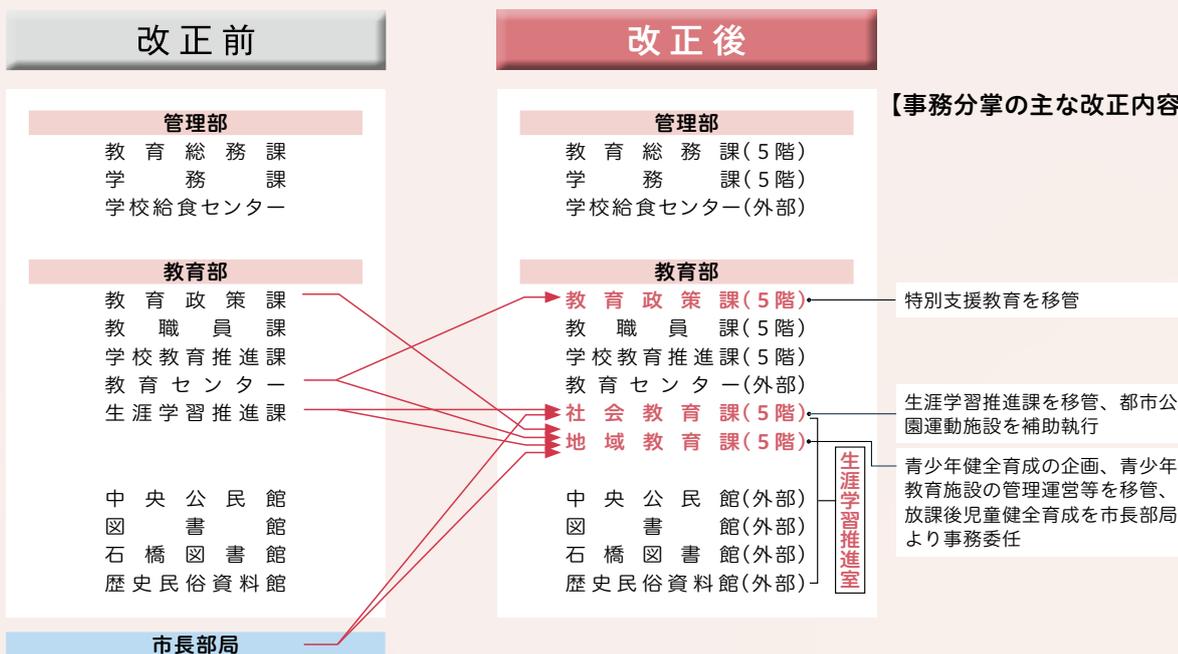
留守家庭児童会に関する業務を教育行政との連携を強化するため委任します。

都市公園運動施設の使用許可、使用料の徴収、管理運営に関する業務をスポーツ振興の一層の推進を図るため教育委員会による補助執行とします。

003 問 行政管理課 ☎754・7

教育委員会の組織が変わります

【事務分掌の主な改正内容】



主な改正点

部室課を再編

●室の設置

教育部に生涯学習推進室を設置します。

●市長部局からの事務移管

生涯学習推進室に新たに地域教育課を設置し、市行政との連携強化のため、留守家庭児童会に関する業務を移管します。

また、生涯学習推進課の名称を社会教育課に改め、都市公園運動施設の使用許可、使用料の徴収、管理運営に関する業務をスポーツ振興の一層の推進を図るため教育委員会に移管します。

6290 問 教育総務課 ☎754・